

施策マネジメントシート(平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成 27 年 7 月 14 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	地域整備課
				課長	上田 宜実
施策	12	道路の雪対策の推進	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図
				①町内の道路利用者	①冬期間において、安全に道路を利用できる。	1
			2	冬期間の安全運転の推進	車両運転者	冬期間における交通事故が減少する。
			3			
			4			
			5			

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				A	冬期間における交通事故発生件数	件	実績値	273	263	264
			目標値		200	200	200	200	200	200
B	雪による通行止め件数	件	実績値	0	0	2	3			
			目標値		0	0	0	0	0	0
C	除雪等に関する情報・苦情件数	件	実績値	60	34	466	105			
			目標値		50	45	40	35	30	25
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。ただし、降雪量や降雪が週末等交通量の多い日になると対象指標の数に大きく影響すると思われる事から注意が必要である。
沼田警察署の資料による

B) 急な降雪や雪崩等の心配により通行止めが発生すると、安全に道路が利用できているとはいえないため成果指標とした。また、その年の異常気象等も把握する事が出来る
主管課で実数を把握

C) 情報・苦情の中でも苦情については道路状況に於いて不快・不便を感じたものであり道路の除雪融雪及び維持管理が適切に行われていないための成果指標とした。ただし、降雪量などの気象条件の影響が大きいことに注意が必要である。
主管課で実数を把握

目標値設定の考え方

A) 成り行きでは、過去4年間(H20～H23)の平均値とする。徐々に減らしていくといった数値ではないのでH25から毎年200件以下を目指す。

B) 雪による通行止めは0件をめざす。

C) 処理能力の高い除雪機械の導入すると共に、職員を始め業者を含めた中での除雪従事者の経験・技術等の育成に努め、町民のニーズに合った、除雪及び排雪等を迅速に行える様にし、除雪に対する苦情件数を減少させる(過去の経緯から、件数はばらつきがあるが平均値として50件を基準と設定)。毎年度5件づつ減少させ、半数となる25件をめざす。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①住宅周りの雪を処理する。 ②地域ぐるみで除雪態勢を考え、地域除雪に協力する。 ③雪道の特性を理解した運転に心掛ける。	①降雪状況を把握して安全で迅速な作業(除雪、融雪、凍結防止剤散布等)をする。 ②除雪作業に必要な協力の呼びかけ(PR、広報)地域除雪に対して支援を行う。 ③危険箇所の周知看板等の設置・点検・修繕を行う。 ④ホームページ等を活用した情報提供を行う。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	平成25年2月の豪雪を教訓に国、NEXCO、県、市町村等の関係機関で群馬県道路除雪会議を開催し、大雪時は道路管理者が連携して、対応がとれるよう協議している。	①除雪に関して不満を抱く町民の割合は約6割と高い。住民の期待にすべて応えることは難しいと考えている。 ②町の特性として、冬期間常時積雪がある地区よりも、降雪量の少ない地区の住民から一時的な雪に対して苦情が集中する。 町民アンケートによると、除排雪に対する不満感じている60.8%の具体的内容は、I 除雪状況が悪い47.1%、II 除雪した雪の処理が不十分45.3%、III 対応が遅い44.8%の順となっており、降雪量の少ない地区からの意見が多い状況である。IVでは雪を捨てる場所がない28.5%と住民自らが除雪に対する意見になっている。 ③融雪施設等のランニングコストの削減について、議会から検討が求められている。

施策	12	道路の雪対策の推進	主管課	名称	地域整備課
				課長	上田 宜実

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因	
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>① 冬季の交通事故発生件数は、平成22年度190件、平成23年度273件、平成24年度263件、平成25年度264件、平成26年度227件と前年度から37件ほど減少した。事故件数の50%は水上地域で発生し、その約60%が大穴以北で発生している。雪道に対する認識不足(スピードの出し過ぎ、雪用タイヤの過信等)が要因と考えられる。</p> <p>② 雪による通行止め件数は平成25年度2件、平成26年度は3件あったが内1件については計画的に冬期閉鎖をかけた箇所である他の2件については週末の大雪で除雪が間に合わず除雪委託業者が交通止めを行った。</p> <p>③ 除排雪に不満を抱く町民の割合は、平成22年度64.3%、平成23年度60.0%、平成24年度58.6%、平成25年度65.9%、平成26年度60.8%と頭打ちしている。地区別にみると、新治地区62.4%と最も高く、月夜野地区が61.0%、水上地区58.2%となっている。不満の内容を地区別にみると、月夜野地区で「対応が遅い」、「雪の処理が不十分」の割合が高くなっており、水上地区では「除雪状態が悪い」、新治地区では「雪の処理が不十分」が高い割合となっている。平成26年度降雪量は藤原地区においては平成17年度の豪雪以上に降っており観光客の足に影響は出たものの集落の孤立化等の問題はなかった。また前年度の豪雪で月夜野地区においては降雪回数日が多かったにも係らず委託業者の除雪が体制も変わったこともあり不満を抱く町民の割合が減少傾向にあると思われる。</p>	
		② 他団体との比較	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>① 除雪対象路線延長、除雪費用は県内トップクラスで、豪雪の地域指定を受けており、降雪量も同様である。</p> <p>② 市町村によって気温などの気象や路線などの条件が異なるため、それぞれに適した方法により除雪・消雪処理を行っている。</p> <p>・当町は、面積が広く条件が大きく異なるため、地域ごとに基準を設定し降雪時の出動態勢を確立している。また、町の職員が除雪対応している市町村は少ない。なお気象観測システムにおいては冬期間の月平均訪問者数35,191人また除雪車管理システムにおいても1,215人あり情報の発信も優れている。</p> <p>・片品村では、無散水施設と、除雪による対応である。</p> <p>・湯沢町では、地下水があり気温も高く、ほとんど散水消雪施設で対応している。</p> <p>・沼田市は幹線道路が対象で坂道には無散水・散水消雪対応しておりその他の路線においては除雪対応である。</p>
			③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。
<p>① 補助事業の除雪機械購入事業で水上地区にロータリー除雪機の更新配備を行った。また単独でも月夜野・新治両地区に4t級のホイールローダーを増強し作業効率が特段向上した。</p> <p>② 無散水の施設の電源の入り切りをこまめにより、電気代の節約に取り組んだ。</p> <p>③ 地域除雪支援体制が整いローダー、手押し小型除雪ロータリ(計5台)で、4地域(師田地区・羽場地区・猿ヶ京温泉地区・和名中地区)に貸し出しなどを行った。</p> <p>④ 除雪機械購入事業で更新を行った除雪機械の管理替えにより委託業者に貸与し、作業効率の増加につながった。</p> <p>⑤ 気象観測装置により、町内の降雪、積雪状況や降雨量をリアルタイムに情報発信が行える。ホームページ訪問者数35,191人/月(冬季4ヶ月間)前年度11,276人</p> <p>⑥ 除雪車管理システムにより除雪作業状況の情報発信を行う事により除雪状況の問合せ件数の減少及び問合せに関しても瞬時に回答できるようになったホームページ訪問者数1,215人/月</p>				
<p>① 補助事業の除雪機械購入事業で水上地区にロータリー除雪機の更新配備を行った。また単独でも月夜野・新治両地区に4t級のホイールローダーを増強し作業効率が特段向上した。</p> <p>② 無散水の施設の電源の入り切りをこまめにより、電気代の節約に取り組んだ。</p> <p>③ 地域除雪支援体制が整いローダー、手押し小型除雪ロータリ(計5台)で、4地域(師田地区・羽場地区・猿ヶ京温泉地区・和名中地区)に貸し出しなどを行った。</p> <p>④ 除雪機械購入事業で更新を行った除雪機械の管理替えにより委託業者に貸与し、作業効率の増加につながった。</p> <p>⑤ 気象観測装置により、町内の降雪、積雪状況や降雨量をリアルタイムに情報発信が行える。ホームページ訪問者数35,191人/月(冬季4ヶ月間)前年度11,276人</p> <p>⑥ 除雪車管理システムにより除雪作業状況の情報発信を行う事により除雪状況の問合せ件数の減少及び問合せに関しても瞬時に回答できるようになったホームページ訪問者数1,215人/月</p>				
<p>① 補助事業の除雪機械購入事業で水上地区にロータリー除雪機の更新配備を行った。また単独でも月夜野・新治両地区に4t級のホイールローダーを増強し作業効率が特段向上した。</p> <p>② 無散水の施設の電源の入り切りをこまめにより、電気代の節約に取り組んだ。</p> <p>③ 地域除雪支援体制が整いローダー、手押し小型除雪ロータリ(計5台)で、4地域(師田地区・羽場地区・猿ヶ京温泉地区・和名中地区)に貸し出しなどを行った。</p> <p>④ 除雪機械購入事業で更新を行った除雪機械の管理替えにより委託業者に貸与し、作業効率の増加につながった。</p> <p>⑤ 気象観測装置により、町内の降雪、積雪状況や降雨量をリアルタイムに情報発信が行える。ホームページ訪問者数35,191人/月(冬季4ヶ月間)前年度11,276人</p> <p>⑥ 除雪車管理システムにより除雪作業状況の情報発信を行う事により除雪状況の問合せ件数の減少及び問合せに関しても瞬時に回答できるようになったホームページ訪問者数1,215人/月</p>				
<p>① 補助事業の除雪機械購入事業で水上地区にロータリー除雪機の更新配備を行った。また単独でも月夜野・新治両地区に4t級のホイールローダーを増強し作業効率が特段向上した。</p> <p>② 無散水の施設の電源の入り切りをこまめにより、電気代の節約に取り組んだ。</p> <p>③ 地域除雪支援体制が整いローダー、手押し小型除雪ロータリ(計5台)で、4地域(師田地区・羽場地区・猿ヶ京温泉地区・和名中地区)に貸し出しなどを行った。</p> <p>④ 除雪機械購入事業で更新を行った除雪機械の管理替えにより委託業者に貸与し、作業効率の増加につながった。</p> <p>⑤ 気象観測装置により、町内の降雪、積雪状況や降雨量をリアルタイムに情報発信が行える。ホームページ訪問者数35,191人/月(冬季4ヶ月間)前年度11,276人</p> <p>⑥ 除雪車管理システムにより除雪作業状況の情報発信を行う事により除雪状況の問合せ件数の減少及び問合せに関しても瞬時に回答できるようになったホームページ訪問者数1,215人/月</p>				

今後の課題と次年度の取り組み方針(案)	基本事業名	今後の課題	平成28年度の取り組み方針(案)
	1 冬期間の通行の確保	① きめ細やかな除雪体制の構築 ② 地域支援除雪の体制整備の拡大 ③ 地域間連携除雪体制整備 ④ 除雪機械の効果的な更新	① 中期除雪計画(平成27年度から5カ年計画)に基づいた取り組みを行う。 ② 地域支援除雪・個人委託・業者委託・町直営の除雪を行っているが地域にあった除雪体系の見直しを行う。 ③ 補助機械の増強により補助車両を9台から10台にする。 ④ 効率のよい除排雪を行う。
	2 冬期間の安全運転の推進	① 路面状況等の情報提供 ② 消・融雪施設の効果的な運用方法の研究 ③ 消雪施設の更新 ④ 夏場の機械維持方法	① 情報システムの内容を精査し、わかりやすいホームページの検討を行う。 ② 消・融雪施設区間を再検証し、ランニングコストの削減等を再検討する。 ③ 社会資本総合整備交付金事業を活用し、消雪施設更新計画を策定する。
	3		
	4		
	5		

12 道路の雪対策の推進

12-01-000001 道路除排雪事業				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費 151,202,303円																														
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 2道路橋梁費				目 5除雪費																														
事業概要	手段と実績 冬季臨時職員10名雇用みなかみ北部の直営除雪及び塩カル散布・破損箇所修繕業者委託業務支援除雪の拡大	対象 除雪			意図 除雪に必要な委託業者への依頼及び直営除雪の人員を確保し安全に除雪作業を進める。																																	
		臨時職員の作業日数	平成25年度 79	平成26年度 104	単位 日	臨時職員の作業日数	平成25年度 79	平成26年度 104	単位 日	除雪作業員の人数	平成25年度 10	平成26年度 10	単位 数																									
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○	×		維持		×		低下	×	×
		コスト																																				
	削減	維持	増加																																			
成果	向上	○	×																																			
	維持		×																																			
	低下	×	×																																			
全体総括	少ない経費で、効率の良い作業を心がける。			今後の改革改善案 現状維持			課題とその解決策 経費削減。																															

12-01-000002 除雪機・除雪車等維持管理事業				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費 19,907,435円																														
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 2道路橋梁費				目 5除雪費																														
事業概要	手段と実績 町保有除雪用車両	対象 除雪使用機械			意図 冬季除雪に必要な機械を確保する																																	
		保有台数	平成25年度 34	平成26年度 37	単位 台	除雪ドーザー	平成25年度 16	平成26年度 16	単位 台	1年点検整備台数	平成25年度 27	平成26年度 19	単位 台																									
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上		○		維持		×		低下	×	×
		コスト																																				
	削減	維持	増加																																			
成果	向上		○																																			
	維持		×																																			
	低下	×	×																																			
全体総括	道路除雪の充実が冬期間の住民生活の根幹を担う物であり、そのための機械購入(維持更新)は、代表的な事業施策であり充実させるべきものである。			今後の改革改善案 概ね現行どおり			課題とその解決策 補助事業への該当車両は限られる事から、単独事業費を用いた計画的な安定確保が課題である。委託内容と直営対応内容を、長期的視野で検討して使用機械の整備目標(計画)を定めることが望ましい。																															

12-01-000003 除雪機・除雪車等整備事業				担当組織 地域整備課 除雪センターG				事業費 41,712,840円																														
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 2道路橋梁費				目 5除雪費																														
事業概要	手段と実績 水上管内rロータリ車1台(補助機械更新)月夜野・新治管内3t級・4t級各1台購入(単独)リース車輛2台 3t級・3t級	対象 除雪作業機械			意図 冬季除雪に必要な機械を確保する																																	
		購入機械数	平成25年度 2	平成26年度 3	単位 台	国庫補助車両台数	平成25年度 9	平成26年度 9	単位 台	町使用機械台数	平成25年度 36	平成26年度 39	単位 台																									
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上		○		維持		×		低下	×	×
		コスト																																				
	削減	維持	増加																																			
成果	向上		○																																			
	維持		×																																			
	低下	×	×																																			
全体総括	道路除雪の充実が冬期間の住民生活の根幹を担う物であり、そのための機械購入(維持更新)は、代表的な事業施策であり充実させるべきものである。			今後の改革改善案 概ね現行どおり			課題とその解決策 補助事業への該当車両は限られる事から、単独事業費を用いた計画的な安定確保が課題である。委託内容と直営対応内容を、長期的視野で検討して使用機械の整備目標(計画)を定めることが望ましい。																															

12 道路の雪対策の推進

12-01-000004 消融雪施設維持管理事業				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費 84,669,452円																										
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 2道路橋梁費				目 5除雪費																										
事業概要	手段と実績	散水消雪10箇所、無散水施設35箇所の町施設。群馬県の施設を共有する10消雪施設の稼働			対象	消雪・融雪施設			意図	施設が正常に稼働する																								
		散水施設箇所数	平成25年度	平成26年度		単位	施設設置道路延長	平成25年度		平成26年度	単位	不動施設数	平成25年度	平成26年度	単位																			
		10	10	箇所	10,961 10,961 m					1	1	箇所																						
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			成果	コスト			削減	維持	増加	向上	○	×	維持		×	低下	×	×
	成果	コスト																																
削減		維持	増加																															
向上		○	×																															
維持		×																																
低下	×	×																																
全体総括		稼働施設の増加に伴い、経常経費の高騰化が進む			今後の改革改善案			気象条件の関係で稼働時間は増えているが、手動にて操作しているため、電気料の抑制につながっている。			課題とその解決策			現状維持																				

12-01-000005 地域除雪支援事業				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費 円																										
予算科目 会計 一般会計 款				項				目																										
事業概要	手段と実績	地域支援除雪貸出業務（羽場・師田・猿ヶ京温泉・和名中区）ミホイ-加-ダ4t級 2台 手押し式ロータリ除雪機3台			対象	実施地域の道路及び歩道数			意図	安全な路面状態を確保する																								
		支援除雪車台数（ロータリ）	平成25年度	平成26年度		単位	実施要望地域数	平成25年度		平成26年度	単位	実施地域数	平成25年度	平成26年度	単位																			
		3	2	台	4 4 箇所					4	4	箇所																						
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			成果	コスト			削減	維持	増加	向上	○	×	維持		×	低下	×	×
	成果	コスト																																
削減		維持	増加																															
向上		○	×																															
維持		×																																
低下	×	×																																
全体総括		他地域への拡充を前提にした運用要綱の精査制定が急務となる			今後の改革改善案			広く町民に地域支援事業を広め地域活動の輪を広める。			課題とその解決策			必要な機材の取得・手配と協力地域に本事業趣旨を正しく認識いただき実施すること。																				

12-01-000006 除雪車運転管理システム導入事業				担当組織 地域整備課 建設グループ				事業費 10,020,030円																										
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 2道路橋梁費				目 5除雪費																										
事業概要	手段と実績	除雪車運転管理システム比較検討をして、導入から運用開始する。			対象	町道利用者及び町民町道			意図	除雪等に関する情報・苦情件数の削減除雪作業をホームページで公表する情報提供																								
		調査業務（視察）	平成25年度	平成26年度		単位	道路延長	平成25年度		平成26年度	単位	苦情件数	平成25年度	平成26年度	単位																			
				2 箇所	1,128 Km						40	件																						
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			成果	コスト			削減	維持	増加	向上	○	×	維持		×	低下	×	×
	成果	コスト																																
削減		維持	増加																															
向上		○	×																															
維持		×																																
低下	×	×																																
全体総括		本年度導入したが冬期間においては試作段階でありシステム運用事態模索を続けている様であったため今後の利用によりシステムの活用が図れるものと思われる			今後の改革改善案			課題とその解決策																										

12 道路の雪対策の推進

12-02-000001 チェーン脱着所管理事業				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費 57,400円					
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 2道路橋梁費 目 5除雪費									
事業概要	手段と実績	脱着所の土地の借上げ			対象	脱着所の数			意図	目的達成のため借用し使用する。			
		土地の借り上げ件数	平成25年度	平成26年度		単位	借り上げ件数	平成25年度		平成26年度	単位	借り上げ件数	平成25年度
			3	3	件数		1	1	箇所		1	1	箇所
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加		<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加			
		現状維持。	現状維持	現状維持	現状維持								

12-02-000002 気象観測システム管理事業				担当組織 地域整備課 建設グループ				事業費 円					
予算科目 会計 一般会計 款				項 目									
事業概要	手段と実績	気象観測を行う観測局の設置工事			対象	町道利用者が閲覧するホームページの利用者			意図	観測局の設置箇所数を増設することにより、より住民に適した観測を行うことができホームページのアクセス件数の増加が見込まれる。			
		観測局設置工事件数	平成25年度	平成26年度		単位	ホームページアクセス件数(12-3月)	平成25年度		平成26年度	単位	観測局設置箇所数	平成25年度
			13	13	件		11,276	15,287	件/月		13	13	箇所
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加		<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加			
		平成25年度において観測局の設置工事が13箇所完了した。今後も観測局の設置箇所を増やせばより多くのアクセス数も増大する事が見込まれるが事業費に対してのアクセスがあるかは想定できない。次年度より気象装置等の維持管理を行うだけであれば、成果を下げずに事業費を削減できる。	今年度設置した観測局数で年間運用し、観測が必要な箇所があれば、随時増設していくことが効果的に事業を進めることができると思う。	管理面積の広いみなかみ町では、全体的に気象観測をする事が非常に困難であると思う。観測局毎に維持管理費用がかかるため、なるべく少ない設置箇所が望まれる。									